

祝い箸

アウルでお正月のお膳に欠かせないのが祝い箸です。祝い箸とは、祝い膳に添えられる丸箸のことです。両口箸とも呼ばれるように、両端が細くなっているのが特徴で、これは片方を神様の口、もう片方を人間の口が使うための仕様。お供えた食べ物を分け合って食べる「神人共食」を意

味しています。

実はこの祝い箸、3年前にアウルの仲間となったご入居者様の手作りなのです。俳画講師の経験を生かし、ご入居以来毎年寄贈いただいています。手の込んだ作品にはファンも多く、自室に持ち帰り保存されている方もいらっしゃいます。

和紙の裁断から始めて、色紙を貼り、袋を折り、水彩画を描き、絵に合わせたおめでたい言葉を



書き入れます。すべてが完成するまでの制作期間は約2カ月といえます。丹精込めてつくられた70膳の祝い箸が、今年も新年の食卓を彩りました。

スタッフ リレーエッセー

笑顔度測定器

先日ニュース番組の特集で、大学構内に「笑顔度測定器」を設置したというのがありました。カメラに向かって「笑顔」を映すとセンサーが笑顔度を%で表しました。機械が割り出した自分の笑顔度を基に好印象を与える顔を心がけていると、学生が語っていました。



看護師 門間絵美

自分の笑顔が相手の眼にどう映っているか考えたことのない私は驚き、自分にとって「笑顔」ってなんだろうと考えました。私は、幸せなことにたくさんの笑顔に包まれて過ごしています。ご入居者様とご家族の笑顔、ともに働く仲間の笑顔、そして家族の笑顔。何気ない会話・しぐさから自然にあふれる笑顔に、大きなパワーをいただいています。私の笑顔も周りの皆様の小さな支えになれるよう、これからも日々精進したいと思います。

今日のらんこ



美容室 帰りなの

アウルコート
のいやし課長
キャバリアの
「らんこ」です

ことばのトビラ

転倒防止

目で確認し、身構え、手すりを使うのが基本

ドアの敷居やカーペットの端など段差5mm程度でも起きる高齢者の転倒事故。バリアフリー化はもちろん、筋力の維持、転倒防止用の靴下やスリッパなどの活用で、転倒事故を防ぎましょう。

●介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)

アウルコート真駒内

〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3
TEL.011-588-1122 FAX.011-588-1133
入居相談受付中 ☎0120-916-768

- 交通機関
- 地下鉄南北線「真駒内」駅下車
 - じょうてつバス「真駒内駅前」停で真駒内線に乗り(約5分)「南町4丁目」停下車(徒歩約4分)

アウルコート真駒内 検索 <http://www.owlcourt.jp>



ふくろうの家 だより

その18
2011年2月

●発行/株式会社私の青い空
●編集/アウルコート真駒内広報室 〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3 ☎011-588-1122



新年にあたり思うこと

代表取締役 武田 治信

年が開け早くも2カ月が過ぎました。昨年1年を振り返ると、日航会社更生法申請、朝青龍引退表明、チリ落盤事故、尖閣諸島衝突事件とあまり思わしくない事件が続きました。一方で、6月には惑星探査機「はやぶさ」が小惑星の砂粒を大変な苦勞をして持ち帰り、10月には、鶴川町出身で北大名誉教授の鈴木章先生がノーベル化学賞を受賞されました。日本の科学技術の水準の高さに改めて驚嘆させられた、輝かしくうれしい出来事でした。

本からの知識によると、鈴木先生が研究する「クロスカップリング」とは、新しい有機化合物を作るための万能のりともいえるものとのこと。鈴木先生とアメリカバドュー大学特別教授の根岸先生が発見したクロスカップリングは、高血圧の治療薬や、テレビ、携帯電話の液晶画面に使われる材料の製造につながりました。この素晴らしい研究に敬意を表さずにはられません。

閑話休題。我がホームも今年で5年目を迎えます。おかげさまで、昨年ようやくほぼ満室となりました。地域の中で、福祉の心を持って誠実にホームづくりを行っていくこと、そうした積み重ねの中で、地域の方とのネットワークを築いていくことを目標に、開設からなんとかここまでたどり着いたというのが正直な感想です。あえて営業活動もせずにここまでこられたことに感謝するとともに、周辺の関連機関の方々にも何とか認識していただけるようになったことに深く感謝しております。

ここで今一度、ホームの行動指針を職員一同が胸に刻み、誠実に、丁寧に、皆様と向き合って、対応していきたいと考えています。鈴木、根岸両先生の腰を据えた研究のように、しっかりとホーム運営を行い、ご入居者様にとってさらに充実した年となるよう、初心を忘れずに対応したいと思っております。

今年もご指導の程よろしくお願い申し上げます。



余興とディナーで楽しんだ 聖夜のクリスマス会

12/24(金)に開催されたクリスマス会は、昨年と同様に参加型のホームパーティーとなりました。ご入居者様によるハンドベル演奏、クリスマスソングの合唱で温まったところへ、職員デュオ「むくどり姉妹」や若手職員のラインダンスが登場し、盛り上がりは最高潮に。その後のディナーではワインも愉しみ、聖夜の余韻を味わいました。



●12/1(水)

体操の時間、刷新

毎日行っていた体操プログラムを一新し、12月からは昼食前にレストランで実施。嚙下を促す早口言葉なども取り入れ、毎回20名を越す盛況ぶりです。



●12/3(金)

イルミネーション点灯

職員がホテルのイルミネーション装飾を参考にしつらえた今回は、ご入所者様からかなりの好評を得ました。この力作は2月末まで飾られる予定です。



●12/7(火)

出張販売、初の開催

オレンジハウスのご協力で、アウルのレストランがスーパーに変身。野菜や果物、乳製品など豊富な品揃えで人気を博し、毎週火曜の定期開催が決定。



●12/13(月)

第4回音楽を楽しむ集い

今回は、ジャズピアニストの三浦永治さんがゲストとして演奏。参加者は歌ったり、鈴やタンバリンを鳴らして、クリスマスソングを楽しみました。



アウルのゆく年くる年

繭玉飾り、カルタ、餅つきと、お正月気分を満喫



大晦日はおだやかに 年明けは華やかに

師走の喧噪から離れ、ゆったりと時が流れるアウルコート真駒内の年末年始。例年ご入居者様の何名かはご家族と過ごすために外泊されるのですが、今年のご家族がアウルへいらっしゃるが多かったようです。大晦日はお刺身盛り合わせの夕食に、年越しそばが付きましました。夕食後は、皆さん自室で

それぞれのペースで年越しをされました。館内には繭玉飾りをはじめ、お花や凧、ご入居者様お手製の絵ハガキやお借りした押し絵の羽子板などを飾り、お正月ムードは満点です。年が明けてからの館内はぐっと華やかに。レストランには、北海道ならではの下の句木札の百人一首やいろはカルタ、福笑いが用意され、新年の昼下がりを楽しみました。



▲多彩な羽子板はご入居者様の所蔵品



▲年越しそばが付いた大晦日の夕食



▲道民にはお馴染み、取り札が木札の百人一首

初挑戦の餅つき、大成功で再開催決定!?

10日(月)成人の日には、開設以来初の餅つきを行いました。年代物の杵と臼を地域の方からお借りしたものの、「職員に経験者が一人もおらず、おそろおそろやってみました」と武田施設長。失敗の可能性を考え、事前に告知せずこっそりスタートしましたが、ぺったんぺったんという音に誘われてご入居者様が集まり、「餅屋に嫁いだときの風景を思い出す」「初めて見た。一度ついてみた

い」など、臼の周りはわいわいと賑やかになりました。ご入居者様の飛び入り参加や「よいしょ!」のかけ声でおいしくつき上がったお餅は、あんことみたらしのからめ餅になって、アウルのおやつタイムに供されました。杵にお餅がついて飛び散ってしまったりと冷や汗もののハプニングもありましたが、それも見る側にとってはまた一興。「4月の開設記念日にも餅つきを」との声も聞かれるほど、大成功の行事となりました。



▲つきたてのお餅はすべすべ



▲お餅はあんことみたらし、2つの味で